

4京医大第237号
令和4年3月25日

関係大学長 様
関係機関等の長 様

京都府立医科大学長
竹中 洋
(公印省略)

総合医療・地域医療学教授候補者の推薦について（依頼）

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、本学大学院医学研究科総合医療・地域医療学（医学部医学科総合医療・地域医療学教室）教授を下記の要領で、公募、選考することとなりました。

本学では、診療・教育・研究の観点から、附属北部医療センター（京都府与謝野町）を拠点に臨床各領域と協働して本学の地域医療学、及び総合医療学を発展させる人材を求めます。

つきましては、ご多用中恐縮に存じますが、貴施設におきまして適任者がおられましたら、下記により令和4年5月6日（金曜日 午後5時・必着）までにご推薦くださいますようお願い申し上げます。

敬具

記

- | | |
|--|-----------|
| (1) 履歴書 | 1部（別紙様式1） |
| (2) 業績目録 | 1部（別紙様式2） |
| (3) 業績目録に記載された代表的な論文20編の要旨・意義・被引用回数(Scopus) | 各200字程度 |
| (4) 論文別刷（業績目録に記載された代表的な論文20編。コピー可。） | 各1部（後日返却） |
| (5) 「診療におけるこれまでの活動及び将来の抱負」 | 2000字程度 |
| (6) 「研究におけるこれまでの活動及び将来の抱負」 | 2000字程度 |
| (7) 「教育におけるこれまでの活動及び将来の抱負」 | 2000字程度 |
| (8) 推薦書（所属長、指導教授などの2名） | 各1部 |
| (9) (1)、(2)、(3)、(5)、(6)及び(7)については、下記規定に従って記録したUSBフラッシュメモリーも添付してください。 | |

※ (1)履歴書及び(2)業績目録の様式は、本学ホームページでご確認ください。

(<https://www.kpu-m.ac.jp/doc/news/2022/20220325.html>)

問い合わせ先：〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路上ル梶井町 465
京都府立医科大学総務課総務係 電話 075-251-5210
e-mail: soumu02@koto.kpu-m.ac.jp

[規 定]

紙サイズ A4 サイズ

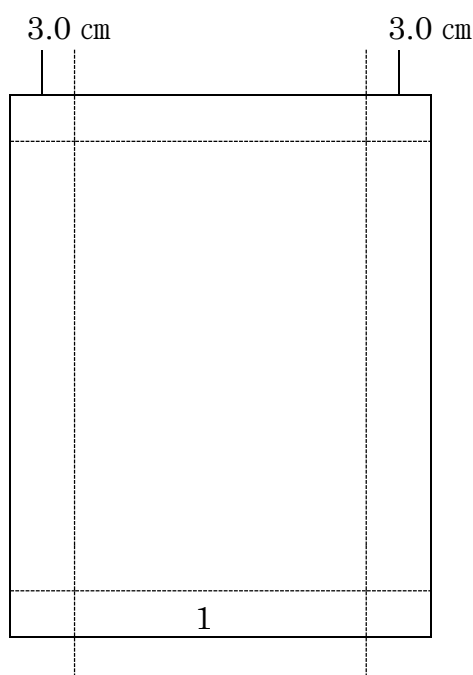
ソフトは Microsoft Word (Windows, Macintosh 共に可)

文字のフォントは明朝体、12 ポイント、数字及び英語は半角

行間はシングルスペース、1 行あたり文字数 35 字、33 行

上下、左右共にスペースは 3.0 cm

項目(1)、(2)、(3)、(5)、(6)及び(7)ごとに頁番号をつける (下部中央印字)



なお、ご提出していただいた書類等の個人情報につきましては、本学大学院医学研究科総合医療・地域医療学教授選考の目的以外には使用しません。本学内の教授会等で公開されることをご承知おき下さい。

提出先 〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路上ル梶井町465
京都府立医科大学長 宛

※応募者の連絡先（電話と E メールアドレス）を履歴書とは別にご提出下さい。
※封筒に「総合医療・地域医療学教授応募書類在中」と朱書きして書留でご送付ください。

(その他) 選考の過程で面接及びセミナーにお越しいただくことがあります。

別紙様式1

履 歴 書

医 大 太 郎

昭和（または西暦）〇年〇月〇日生（〇歳）

現住所 〇〇県△△市

- 平成〇〇年(19xx年)3月31日 〇〇大学医学部卒業
- 平成〇〇年(19xx年)5月16日 〇〇医科大学附属病院研修医、〇〇科勤務
- 平成〇〇年(19xx年)5月20日 医師免許証取得（第〇〇〇〇号登録）
- 平成〇〇年(19xx年)4月1日 〇〇大学大学院医学研究科博士課程入学
- 平成〇〇年(19xx年)3月23日 医学博士（〇〇大学 第〇〇号）
- 平成〇〇年(19xx年)3月31日 〇〇大学大学院医学研究科博士課程修了
- 平成〇〇年(19xx年)4月1日 〇〇大学医学部助手、〇〇科学教室勤務
- 平成〇〇年(19xx年)9月1日 〇〇大学医学部講師、〇〇科学教室勤務
- 平成〇〇年(19xx年)4月1日 アメリカ合衆国〇〇大学へ留学
(〇〇大学医学部〇〇科 Visiting Professor)
- 平成〇〇年(20xx年)8月31日 帰国
- 平成〇〇年(20xx年)9月1日 〇〇大学医学部准教授、〇〇科学教室勤務
現在に至る
- 平成〇〇年(19xx年)4月1日～平成〇〇年3月31日 〇〇大学非常勤講師
- 令和〇年(20xx年)4月1日～令和〇年3月31日 〇〇大学客員講師

所属学会等

日本〇〇学会会員 (平成〇〇～令和〇年度)

学会役員等

日本〇〇学会理事 (平成〇〇～令和〇年度)

日本〇〇学会評議員 (平成〇〇～令和〇年度)

学会の認定医，専門医，指導医等

日本〇〇学会認定医 (第〇〇〇号)

学術活動・社会貢献等

〇〇誌の編集委員

知的財産（これまでに出席した特許等）目録

1. 発明等の名称；新規な xxxxx・およびその用途

出願番号：特願 20xx-xxxxxxx ; 平成〇〇年〇月

発明者：〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇

2. 発明等の名称：〇〇病発症またはリスクの〇〇的検出方法

出願番号：特願 20xx-xxxxxxx・PCT/JPxx/xxxxx ; 平成〇〇年〇月

発明者：〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇

大学など機関内の委員会、小委員会、審査会等への貢献実績

1. 〇〇大学医学倫理審査委員会ゲノム小委員会委員 平成〇～〇年度

2. 〇〇大学医学部放射線障害予防委員会委員 平成〇～〇年度

賞罰 平成〇〇年 日本〇〇学会奨励賞

研究助成（これまでに受けた文部科学省科学研究費，厚生労働省科学研究費，
日本医療研究開発機構 (AMED) などの助成金額等について直接・間接
経費の総額を記入してください)

公的助成

代表

- 1 文部科学省科学研究費補助金基盤研究 (A) 平成〇～〇年度
〇〇〇〇〇〇〇の研究 助成金額 〇〇千円
- 2 厚生労働省科学研究費補助金〇〇〇〇〇事業 平成〇～〇年度
〇〇〇〇〇〇〇の研究 助成金額 〇〇千円
- 3 日本医療研究開発機構 (AMED) 〇〇〇〇〇事業 令和〇～〇年度
〇〇〇〇〇〇〇の研究 助成金額 〇〇千円

分担

- 1 文部科学省科学研究費補助金基盤研究 (A) 平成〇～〇年度
〇〇〇〇〇〇〇の研究 (代表者 〇〇) 助成金額 〇〇千円
- 2 厚生労働省科学研究費補助金〇〇〇〇〇事業 平成〇～〇年度
〇〇〇〇〇〇〇の研究 (代表者 〇〇) 助成金額 〇〇千円
- 3 日本医療研究開発機構 (AMED) 〇〇〇〇〇事業 令和〇～〇年度
〇〇〇〇〇〇〇の研究 (代表者 〇〇) 助成金額 〇〇千円

※ 分担研究につきましては、本人への助成金額を記入してください。

財団等からの助成

代表

- 1 〇〇〇〇財団〇〇〇〇助成 平成〇～〇年度
〇〇〇〇〇〇〇の研究 助成金額 〇〇千円
- 2 〇〇〇〇財団〇〇〇〇助成 令和〇～〇年度
〇〇〇〇〇〇〇の研究 助成金額 〇〇千円

分担

- 1 〇〇〇〇財団〇〇〇〇助成 平成〇～〇年度
〇〇〇〇〇〇〇の研究 (代表者 〇〇) 助成金額 〇〇千円

2 ○○○○財団○○○○助成 令和○～○年度
○○○○○○○○の研究 (代表者 ○○) 助成金額 ○○千円

※ 分担研究につきましては、本人への助成金額を記入してください。

業 績 目 録

いだい たろう
医大 太郎

(A-a) 英文著書

*個人著書の場合

- 1 Idai T. Means to and end: apoptosis and other cell death mechanisms. ○○○○○ (注 出版社名), New York (注 出版社の所在都市名) : pp1-220, 2011.

*分担執筆の場合

- 2 Kyoto H, Idai T. Cancer chemotherapy, immunotherapy & biotherapy, 6th ed. In: Idai J, Kyoto A, editors. ○○○○○ (注 出版社名), Philadelphia (注 出版社の所在都市名) : pp457-466, 2019.

(A-b) 和文著書

*個人著書の場合

- 1 医大太郎. なぜベイズを使わないのか!? ○○堂, 京都: pp1-262, 2017.

*分担執筆の場合

- 2 京都花子, 医大太郎. 次世代シーケンサーによる造血器腫瘍解析. 造血器腫瘍アトラス改訂第 5 版. 医大二郎 編. 日本○○社, 東京: pp95-102, 2016.

(B-a) 英文総説

- 1 Idai T., Kyoto M. Genomic imprinting disorders: lessons on how genome, epigenome and environment interact. Nat Rev Genet (注 PubMed の略名法による) 20: 235-248, 2019. (IF=41.464)

(B-b) 和文総説

- 1 医大太郎. ゲノム医療時代の病理医の役割. ○○医学 26:39-45, 2019.

(C-a) 英文原著

- 1 Idai T, Kamigyo J, Kyoto H, Kawaramachi A, Kamogawa R, Shimogamo H. Glycolytic switch is required for transdifferentiation to endothelial lineage. *Circulation* 139: 243-255, 2019. (IF=18.88)

(C-b) 和文原著

- 1 医大太郎, 京都花子, 上京二郎. 水球選手のメンタルタフネスを評価する有効な質問項目の検討. ○○医 (注 医学中央雑誌の略名法による) 174 : 227-235, 2017.

(D) 学会発表

学会発表は、国内外の学会における特別講演・教育講演等、シンポジウム・ワークショップ・パネルディスカッション等の発表、及び国際学会における一般発表のみ記載してください。

記載の方法は前記に準じ、題名、発表学会名、開催地を発表年の順に記載してください。

I) 特別講演、教育講演等

- 1 Idai T. Customized induced pluripotent stem cell-derived red cell reagents. Plenary lecture. 59th Annual Meeting of Am Soc of Hematol. 2017 Dec 7; ○○○○○, USA (注 会議の開催都市名、国名、ただし国内の場合国名は省略) .
- 2 医大太郎, 医大二郎, 京都花子. 教育講演. 世界に羽ばたく○○の育て方. 第77回日本○○学会, 2018, 福島.

II) シンポジウム、ワークショップ、パネルディスカッション等

- 1 Idai T. Estimation of strength during fracture healing based on acoustic emission properties. Symposium; Bone trauma and fracture repair. 2nd World Congress of Biomechanics. 2005 Jul 14; ○○○○○○, Netherlands (注 会議の開催都市名、国名、ただし国内の場合国名は省略).

III) 国際学会における一般発表

- 1 Idai T. Prognostic impact of past history of other malignancies

in prostate cancer. International Prostate Cancer Symposium. 2015
Oct 29-31; ○○○○○, USA (注 会議の開催都市名、国名、ただし
国内の場合国名は省略) .

履歴書・業績目録記入上の注意について

業績目録は、別紙様式2のとおり (A-a) 英文著書、(A-b) 和文著書、(B-a) 英文総説、(B-b) 和文総説、(C-a) 英文原著、(C-b) 和文原著及び、(D) 学会発表に分類し、それぞれ最近のものから年順に列挙し別葉としてください。

- (1) 履歴書の年号は元号と西暦を併記してください。
- (2) 代表的な論文20編の番号の前には○印を付けてください。
なお、代表的な論文20編については、それぞれ簡潔に要旨、意義および被引用回数(Scopus)を記したもの(200字程度)を別に添付して下さい。
- (3) 共著、共同発表の場合は、本人の氏名を含め全員の氏名を原典に記載された順に記し、本人氏名にアンダーラインを引いてください。筆頭者とほぼ同等に貢献したことが記載されている論文においては、本人氏名の右肩に#印を、corresponding authorの場合は本人氏名の右肩に*印を付記してください。なお、筆頭者とほぼ同等に貢献した論文あるいはcorresponding authorである論文においては、これらのことが記載されているページのコピーも提出して下さい(代表論文として提出する論文におきましては、重複して提出して頂く必要はありません)。
例1) 医大太郎, 医大花子, 医大二郎. 論文名. 雑誌名
1X: 99X-10XX, 20XX.
例2) 医大花子, 医大太郎[#], 医大二郎. 論文名. 雑誌名
1X: 99X-10XX, 20XX.
例3) 医大二郎, 医大太郎^{*}, 医大花子. 論文名. 雑誌名
1X: 99X-10XX, 20XX.
- (4) 英文総説と英文原著論文については、各論文ごとに Impact Factor(ク
ラリベイト・アナリティクス社 Journal Citation Reports(JCR)2021年版
2020 ジャーナル・インパクトファクター)を記載してください。
- (5) 雑誌名が変更となっている場合はその記載の末尾に詳細を明記してください。
- (6) 掲載予定のものについては、それを証明する書類を添付してください。
- (7) 氏名を英語で表記する場合は、下記例のように統一して記載してください。(例) 医大太郎→「Idai T」
- (8) 学位申請論文については、題名の後に(学位論文)と記載してください。